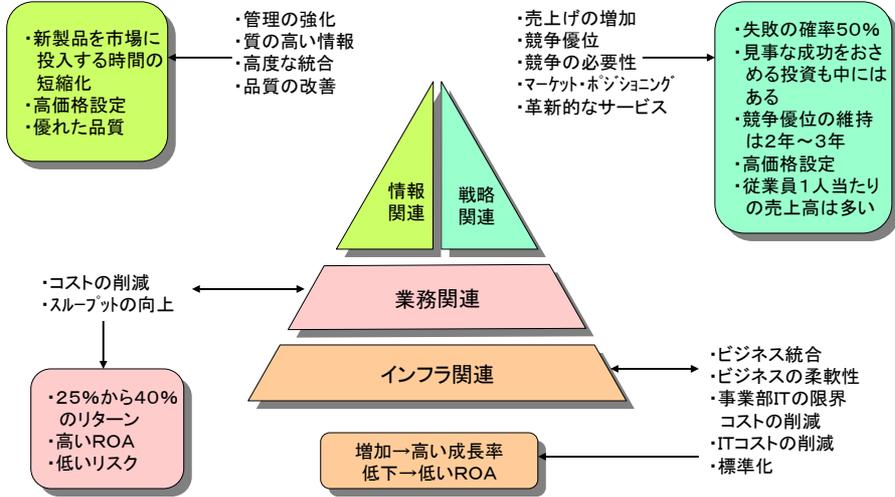
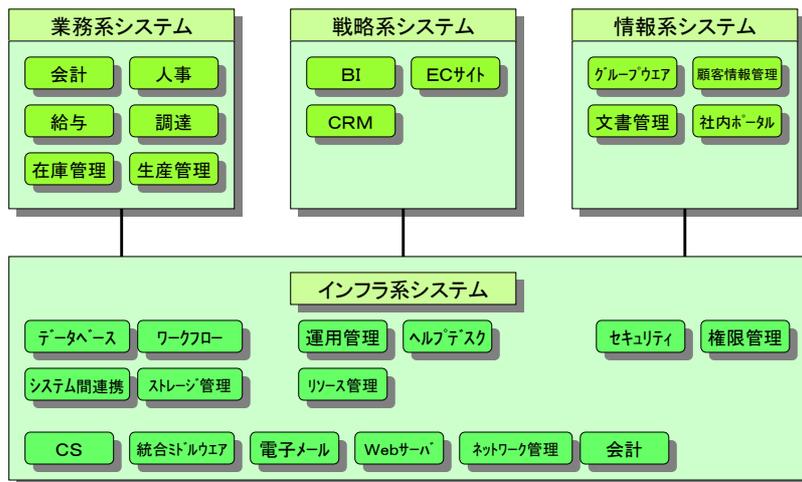


ITポートフォリオとビジネス価値



出典:ピーター・ワイエル著「ITポートフォリオ戦略論」

情報システムの役割における分類



出典:大和田 崇著「IT投資の評価手法」

代表的なITポートフォリオ



ビジネス戦略

	平均的な企業	コストを重視する企業	コスト俊敏性のバランスをとる企業	俊敏性を重視する企業
ITポートフォリオの投資配分	16% 14% 12% 58%	13% 5% 40% 42%	20% 15% 15% 50%	14% 17% 11% 58%
経費または売上高に占めるIT投資の割合(業界平均との比較)	・売上高の4.1% ・経費の7.7%	・業界平均を10%から20%下回る	・ほぼ業界平均並み	・業界平均を10%から25%上回る

出典:ピーター・ワイエル著「ITポートフォリオ戦略論」

IT投資評価法

	業務関連	情報関連	戦略関連	インフラ関連
投資の狙い	・コスト削減 ・スループットの向上	・管理の強化 ・質の高い情報 ・高度な統合 ・品質の改善	・売上げの向上 ・競争優位 ・マーケット・ポジショニング ・革新的なサービス	・ビジネス統合 ・ビジネスの柔軟性 ・事業部ITの限界コストの削減 ・ITコストの削減 ・標準化
投資の効果	・25%~40%のリターン ・高いROA ・低いリスク	・新製品を市場に投入する時間の短縮 ・高価格設定 ・優れた品質	・高価格設定 ・従業員1人当たりの売上げは多い ・失敗の確率50% ・見事な成功事例はある ・競争優位の期間は2~3年	・高い成長率(増加) ・高いROAの低下
大規模評価投資法	DCF法 ・確実なベネフィットだけを盛り込んだキャッシュ・フローを推定し、それをもとに計算したNPVがプラスになる。	DCF価値分析法 ・堅実なベネフィットと(不確実な)予測ベネフィットの両方を組み合わせ、体系化されたテクニック	パイロット法 ・十分な情報を盛り込んだ主観的な分析に基づく評価法 ・パイロット法はハイリスク/ハイリターンプロジェクトに内在するリスクを減らす(ベネフィットの確度が低い反面、可能性が高い)	
小規模評価投資法	・確実なベネフィットだけを盛り込んだキャッシュ・フローを推定し、それをもとに計算したNPVがプラスになる。	経験に基づく方法 ・詳細な評価を行い、その結果をもとに全社的な経験則を確立する	戦略主導による方法 ・小規模な戦略的投資には、着手金が必要	

出典:ピーター・ワイエル著「ITポートフォリオ戦略論」